

# きりゅう 市議会だより

平成20年8月1日

## No.210



プール遊びを楽しむ園児たち（みつぼり保育園）

平成20年第2回定例会は、6月5日(木)に招集され、6月20日(金)までの16日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案18件の審議を行い、それぞれ可決・同意しました。

また、議員提出議案5件の審議も行い、1件を可決、4件を否決としました。

### 主な掲載記事

- 一般質問を24議員が行う…………… 2～6
- 主な議案…………… 6
- 請願の審査結果…………… 7
- 学校施設の耐震化促進を求める決議…………… 8

# 一般質問

六月十八日(水)・十九日(木)・二十日(金)

の三日間にわたり、二十四人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたる問題について、市当局の見解を求めました。

## 公民館の運営

田島 忠一(愛・桐生)

**質問** 機構改革により職員が削減になったが、運営

(広沢公民館)



に支障はないか。また利用者から不満の声はないか。

**答弁** 当初とまどいはあったようだが、不満の声などは聞いていない。

**質問** 土曜日、日曜日に職員の勤務がないのはなぜか。

**答弁** ゆとり教育の一環として学校が土曜休みとなり子供供達が公民館を利用することを想定し、一名増員した経緯はあるが、休日の過ごし方が多様化し利用が少なくなったため減員したなお、主催事業がある時は出勤している。

## 質問者

田島忠一	(愛・桐生)
細野小周	(クラブ 21)
近藤小星	(愛・桐生)
岡井福庭	(公明クラブ)
石笹荒周	(愛・桐生)
原井田中	(クラブ 21)
津布久	(愛・桐生)
島谷東藤	(友和会)
野田牧部	(愛・桐生)
小星西岡	(クラブ 21)
井福庭	(愛・桐生)
森相石	(薫風会)
笹荒周	(愛・桐生)
福寺関	(クラブ 21)
河原井	(友和会)
中津	(日本共産党)
忠昌淳	(愛・桐生)
一弘二二	(公明クラブ)
江利乘朗	(愛・桐生)
大文子	(友和会)
俊司彦	(日本共産党)
一宣夫	(愛・桐生)
始蔵人	(公明クラブ)
米博	(クラブ 21)
	(日本共産党)
	(日本共産党)

## 森林整備

細谷 昌弘(クラブ 21)

**質問** 菱町の金葛市有林の下草刈りはどのような事業で実施されたのか。

**答弁** 県が仲介者となり所有者と企業(団体)で森林整備に関する協定を結んでおり、この事業の一つとして実施したものである。

**質問** 梅田地区の山林は

手入れ不足となっているが桐生市全体の山林崩壊に対する調査と対応はどうか。

**答弁** 山林崩壊だけを目的とした調査は実施してい

(金葛市有林)



ないが、通常業務の中で調査し、対策が必要と思われる場所については、実施機関連する調査を行っている。

## 市政功労者への処遇

小野田 淳二(愛・桐生)

**質問** どのような人を名誉市民としているか。

**答弁** 前原一治氏、森喜作氏、佐々木元吉氏、荒木勸一郎氏、長谷川四郎氏、川村佐助氏、小山利雄氏の七人を名誉市民としている。

**質問** 名誉市民七人のうち五人が政治家であるのに対し、経済人が二人だけというのは少なく思える。桐生市の発展のためにも、産業界における功労者にもっと感謝の意を示し、顕

彰すべきではないか。

**答弁** 桐生市に貢献した人には幅広く顕彰があってよいと考える。名誉市民に関しても幅広く検討したい。

(市役所)



## 広報きりゅう

周東 照二（公明クラブ）

**質問** 発行を月一回とした経緯と効果はどうか。

**答弁** 予算や多様なメディアの活用などを検討した結果で、印刷製本費及び配布委託料が約四割減少している。

**質問** 情報の取捨選択や高齢化率が高い中で文字の大きさなどの配慮はどうか。また増ページはできないか。

**答弁** 各課からの依頼記事は全て掲載するよう努めている。文字の大きさにつ

（広報きりゅう）



いては読みやすい紙面づくりの重要要素として市民ニーズの把握に努めたい。増ページは広告や文字の大きさなどを含め研究したい。

## 空き店舗対策

星野 定利（愛・桐生）

**質問** 桐生市内商店街の空き店舗が百軒を超えた。

（本町通り商店街）



このような空き店舗を活用し、商店経営者以外の一般の人が自助・互助の精神に則り、独創的な各種アイデアを生かした店を開業すれば、動物園来園者の回遊などによる集客が増し、既存店も繁盛し、商店街全体の活性化につながるものと考えている。このような企画に対し意欲を抱いている地元の高校もあるが、市の見解はどうか。

**答弁** 提案の事業が実施される場合には、市としてもできる限り協力させてもらいたい。

## 教育施設の耐震改修

近藤 健司（愛・桐生）

**質問** 緊急避難場所でもある小・中学校の耐震改修

（避難場所になっている小学校）



計画の中で、平成二十五年、二十六年度実施予定の改修を前倒しするなど、計画の見直しを行うことに対する教育委員会の見解はどうか。

**答弁** 国は、地方自治体の負担を軽減し、小・中学校などの早期の耐震化を推進するため、補助事業の補助率上げや地方債充当率の拡充を図っている。こうした国の支援策を活用する中で、児童生徒、地域住民の安全確保の観点から、計画の見直しを行い、早期に耐震化が図られるよう関係部局と協議していききたい。

## 各種委員の報酬

西牧 秀乗（友和会）

**質問** 平均会議時間と教育委員会の年間回数及び平均時間はどのくらいか。

**答弁** 各種委員会の会議は平均約二時間であり、教育委員会は年間二十二回で一回平均四十五分である。

**質問** 議会や職員は減給に努力し、私が厚生病院議長の時には日給八千五百円を千五百円に改定した例もある。一方、教育委員会における月給九万九千九百円などの各種委員報酬は見直さ



（市役所）

れずにいるが、例えば月給を日給に、日給を時給に見直すなどの考えはあるか。

**答弁** 他市の状況なども勘案し、研究していきたい。

## ごみの減量

小滝 芳江（クラブ21）

**質問** 資源ごみのコンテナ収集導入の考えはあるか。

**答弁** 現在、県内九市で何らかの形でコンテナ収集が行われている。資源ごみの種類によってはごみ袋が不要となり、ごみの減量につながるものと考えているが、桐生市では、ステーションの数が多く、道路も狭いため、コンテナ収集の実施には課題が多いと考える。

**質問** 市内一斉でなくとも、可能な箇所から順次、



（リサイクルセンター）

導入していくのはどうか。

**答弁** 太田市のように収集箇所を限定した拠点方式であれば導入の可能性が考えられるので検討したい。

## 両国橋の周辺整備

岡部 純朗（愛・桐生）

**質問** 四月に開通した新しい両国橋兩岸の取り付け道路を延伸し、周辺の幹線道路へのアクセス道路を整備する考えはあるか。

**答弁** 現在、都市計画事業においては、中通り大橋線や錦琴平線などの幹線道路の整備を先行させる必要があると考えているが、両国橋と周辺の幹線道路をつなぐアクセス道路を整備することの有効性は十分に認識しているので、今後、そ

の実現に向け、あらゆる事業手法などを検討していきたい。また、その準備として交通量調査なども実施していきたい。

（両国橋の取り付け道路）



## 農業振興

井田 泰彦（クラブ21）

**質問** 有機農業の推進についてどう考えるか。

（新里町農産物直売所）



**答弁** 有機農業は、多様化する消費者のニーズに応える農業であると捉えており、今後、策定が見込まれる県の推進計画に即して、市としても、できる限りの支援を行う考えである。

**質問** 有機栽培農産物のブランド戦略についてどう考えるか。

**答弁** 有機栽培により農産物に付加価値をつけ、桐生ブランドとして販売できれば、非常に有意義なことであり、市としても、「有機認証」取得などの取り組みに対する支援を研究したい。

## 歩道整備

福田 光雄（愛・桐生）

**質問** 川内南小学校西門前の歩道拡幅工事の計画はどうか。

（川内南小学校西門前の歩道）



**答弁** 県道駒形大間々線の川内南小学校西門付近の区間については、もともと歩道幅員が非常に狭く、児童生徒をはじめ地元住民の通行の際に危険であったことから、平成十九年度に、県の交通安全対策事業として、西門より南側の約五十メートルの区間について歩道拡幅工事が実施されたところである。西門より北側の残り約七十メートルの区間についても、平成二十年度中に、拡幅工事が実施される予定となっている。

## 子育て世代の定住促進

庭山 由紀（薫風会）

**質問** 子育て世代を桐生に呼び込む上での課題と課題をどのように考えるか。

**答弁** 若い世代の定住促進を考えるにあたっては、可住地面積が少ないという桐生市の地理的な制約など、あらゆる要素を踏まえる必要がある。

**質問** 子育て世代の定住促進に向けた施策はどうか。

**答弁** 次世代育成支援行動計画後期案作成に向けて「仕事・育児の両立支援の



（地域子育て支援センター）

## 放課後児童クラブの運営

森山 享大（愛・桐生）

**質問** 保育料などの格差の実態をどう考えるか。

**答弁** 保育料の差は、各クラブの指導員賃金や実施行事などの違いによるもので、基本的な保育内容などに差はないものと考えている。

**質問** 保育料の均一化及び大規模クラブ分割に備えた運営マニュアルの作成や地域の運営委員の負担軽減に関する市の見解はどうか。

**答弁** 保育料の均一化のための給料表作成の検討や

国県のガイドラインを踏まえた運営マニュアル作成とあわせて地域の運営委員の負担軽減に向けた積極的支援に努めていきたい。

（放課後児童クラブ）



## みどり市との合併

相沢 崇文（クラブ21）

**質問** 合併新法による優遇措置はどのようなものか。

**答弁** 平成二十二年三月末までに合併すれば、旧法と同様に不均一課税や議員の在任特例等は適用されるが、普通交付税の算定替が適用される期間は段階的に短縮される。また、合併特例債による支援措置はない。

**質問** 新法期限内にみどり市との合併を実現するための任意及び法定協議会設置のスケジュールはどうか。

**答弁** 現状、合併への民意醸成に重点を置くことが最大の近道と考えており、今後の民間の動向を注視しながら時期を見定めたい。

（桐生・みどり連携推進市長会議）



## 健康づくりと行政改革

石井 秀子（友和会）

**質問** 公共・教育施設での受動喫煙防止に、職員のと

（市役所一階喫煙所）



喫煙時間帯設定はどうか。

**答弁** 市役所内では喫煙室以外は禁煙であり、小・中学校では校舎内禁煙が分煙の対策が取られている。喫煙時間帯の設定は、弊害も考えられるので、今後の研究課題としたい。

**質問** 施設管理運営のアウトソーシング先の選定基準、業務の評価、委託費の算出をどう考えているか。

**答弁** 施設の委託先の選定は、総合的視点から判断し、適正な評価や管理費を定め質の高いサービスや効率性が図れるよう努めたい。

## おりひめバス

笹井 重俊（日本共産党）

**質問** 今後おりひめバス見直しの検討は、どこが主体となって行うか。

**答弁** バス路線見直しは、アンケート結果や市への意見を集約し、その結果を、今回見直しを検討、答申した「桐生おりひめバス運行事業検討委員会」で検証し、今後の路線見直しの必要性を含めて検討したい。

**質問** 検討委員会の委員には、利用者など市民の参加を求めるべきではないか。

（おりひめバス）



**答弁** 現時点では問題点を検証する必要があるため、検討委員会に諮っていく。なお、委員にもバスに多く乗車するよう勧めたい。

## 道路網の再編

福島 賢一（愛・桐生）

**質問** 本一、本二地区の伝建群指定に向けて、本町

（本町通り）



通りの一部を都市計画道路からはずす考えはあるのか。

**答弁** 都市計画道路本町線については、伝建群の指定を前提に安全面から幅員を確保しつつ、建物保存に支障がないよう関係機関と協議しながら検討したい。

**質問** 本町通りの県道の一部を市道に変更し、中通り大橋線を、県道に昇格させる考えはあるか。

**答弁** 中通り大橋線事業の進捗よくや北関道へのアークセス、伝建群保存の方向性などを鑑みて、研究する必要があると考えている。

## 桐生駅構内の活用

荒木 恵司（愛・桐生）

**質問** 桐生駅構内は、全店舗が空きスペースである

（桐生駅南口）



が、市としてどう活用していくのか。また、他の地域との連携による広域観光についての考えはあるか。

**答弁** 桐生駅構内の空きスペースは、ジェイアール東日本でも憂慮している状況であり、現在協議を重ね、関係機関にも協力してもらえよう検討している。また、みどり市と連携して国の「観光まちづくりコンサルティング事業」採択に向けて準備を進めており、採択となれば、両市などの観光資源を活用し、旅行商品を作り上げていきたい。

## 市民サービス

寺口 正宣（公明クラブ）

**質問** 今年度から市税のコンビニ納付が始まったが納付状況はどうか。

**答弁** 平成二十年度当初課税における、コンビニ納付状況は、固定資産税・都市計画税三千四百六十五件、軽自動車税七千七百六十一件となっており、順調な滑り出しと認識している。

**質問** 長寿センターにおける高齢者無料入浴券の利用状況はどうか。

**答弁** 高齢者無料入浴券

利用施設は、四月から新たに長寿センターなど七か所増え、四月と五月では利用者の七・一パーセントの人が新規の施設を利用した。

（美原長寿センター）



## 「子育て都市桐生」の実現

周藤 雅彦（クラブ21）

**質問** 子育て都市桐生の実現のための施策はどうか。

**答弁** 市独自の取り組みとして、三歳未満の第三子以降の児童に月額二千円支給する「すこやか児童手当」や、小学校三年生までの医療費の助成、公立幼稚園の四園において三歳児保育の実施などを行っている。

**質問** 市民に分かりやすくするため、子育て施策の受付統一化の考えはあるか。

**答弁** 子育て支援の組織

（子育て支援課）



づくりとして、四月に「こども育成課」を「子育て支援課」に変更し、子育てに関する様々な相談を一か所で受けられるよう配慮した。

## 工業団地の周辺整備

関根 幸夫（愛・桐生）

**質問** 芝工業団地周辺道路の整備計画はどうか。

**答弁** 昭和五十九年の造成開始以降、時代の経過とともに搬入車両の台数増加や大型化が進み、周辺道路の幅員拡張などが求められてきたことを受け、平成二十年度から二十一年度にかけて延長約百メートルの区間を整備する予定である。

**質問** 同団地周辺に事業拡大に使える用地はあるか。

**答弁** 同団地周辺への規

（新里町芝工業団地の周辺道路）



模拡張を視野に入れた適地として山上工業団地周辺地区を選定しているが私有地なので、具体的な立地動向に際して調整が必要となる。

## 中学校、幼稚園の跡利用

河原井 始（クラブ21）

質問 補助金等適正化中央連絡会議の決定が中学校



（旧西中学校）

や幼稚園の跡利用にどう影響するか。

回答 今年四月に出されたこの決定をもとに、各省庁が所管補助金に係る財産処分の基準を改正しているところである。この基準改正が学校施設にも適用されると、市が補助金を活用して取得した財産を処分する際に、その補助金の返還が必要になるなどの制約が緩和されることになり、施設の跡利用を検討する際の選択肢が広がるものと考えられるので、このメリットを最大限活用したい。

## 地域医療

中田 米蔵（日本共産党）

質問 厚生病院の医師減員の現状及び今後の対応をどのように考えるか。

回答 ここ数年で医師が最も多かった平成十八年度と現在を比較すると、精神神経科で一人、神経内科で二人、循環器科で二人、外科で二人、整形外科で一人、心臓血管外科で二人、全体で八人の減員となるが、大学医局の人事異動がその主な要因と聞いている。今後の対応として、関係大学、



（桐生厚生総合病院）

関係機関への働きかけや臨床研修医の積極的受け入れのほか、患者への対応として、診療科相互の連携などに努めていく考えである。

# 主な議案

桐生市立学校設置条例の一部を改正する条例案

可決

概要

平成二十一年度から東中学校、北中学校及び菱中学校を統合し、清流中学校としようとするもの。

また、十四の幼稚園を統合し、七園（東、西、境野、広沢、相生、川内南、桜木



（東中学校）

の各幼稚園）にしようとするもの。

桐生市新里温水プールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

可決

概要

桐生市新里温水プールの管理について、平成二十一年度から指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上及び管理経費などの削減を図ろうとするもの。

また、閑散期に週一回の休館日を設けることにより、施設管理の効率化を図ろうとするもの。

（新里温水プール）

可決

概要

市営住宅の入居者の安全及び平穏な生活を確保するために、入居者の資格などに暴力団員でないという要件を追加しようとするもの。また、公営住宅法施行令の一部改正に伴い、入居収入基準や家賃制度などを変更しようとするもの。



（市営住宅間ノ島団地）

財産取得（分団用水槽付消防ポンプ自動車）について

可決

概要

消防体制の充実強化のための消防団用車両の計画的更新の一環として、桐生方面団第一分団、第五分団及び第八分団用の水槽付消防ポンプ自動車3台を購入しようとするもの。

## 学校の適正配置

津布久 博人（日本共産党）

質問 昭和小学校の適正配置に関して、十月に結論を出させ、十一月に実施計画作成というスケジュールは押し付けと言えないか。

回答 スケジュールの作成については、本年五月に「西・南・昭和地区小学校適正配置検討委員会」の了承を得たものである。

質問 「結論を急ぐべきではない」という検討委員会の要望が尊重されていないのではないか。

回答 「結論を急ぐべきではない」という検討委員会の要望が尊重されていないのではないか。



（昭和小学校）

回答 検討委員会の意向はあくまでも尊重していきたい。今後の協議内容によっては、スケジュールの組み直しも考えられる。



桐生市市営住宅条例及び桐生市店舗併用住宅条例の一部を改正する条例案

## お知らせ

議員の暑中見舞状・寄付などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

◎暑中見舞状などのあいさつ状を出すこと。

(答礼のための自筆のものは除きます)

◎寄付をすること。

◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

◆次回定例会の開催予定は

# 9月4日(木)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。平成20年第2回定例会の会議録は、9月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページでもご覧いただけます。

## 請願の 審査結果

この定例会では、請願4件の審査を行い、その結果、いずれも閉会中の継続審査となりました。

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第10号	中国人強制連行・強制労働に対する救済施策を求める請願
	第11号	中国の平頂山事件被害者への謝罪を求める請願
産業経済委員会	第5号	日豪をはじめとするEPA路線を転換し、自給率の向上と食糧主権にもとづく農政を求める請願
教育民生委員会	第6号	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願

## 全員協議会

### 6月23日開催

議会は、6月23日(月)に全員協議会を開催し、「ごみ袋の統一化」に関する市当局の案について報告を受けました。

案の内容は、現在、市内で地域別に使われている三種類のごみ袋を統一するというもので、今年10月から試行し、来年4月から本格的に実施するというものでした。これに対し、議員から、「市民の意見聴取が不十分であり、もっと時間をかけて検討すべき」などの意見が多く出されました。



## 一般会計予算の補正

◆平成20年度桐生市一般会計補正予算(第1号)

可決

【概要】

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ1億1,010万1千円を増額補正して予算総額は471億10万1千円となりました。

【主な補正内容(歳出予算)】

- 土木費都市計画費公園費  
補正額 5,350万円の増額  
※桐生が岡動物園事業(クモザル舎、リスザル舎整備工事)など
- 教育費中学校費学校管理費  
補正額 2,666万円の増額  
※学校改修事業(相生中学校改修工事)



(現在の動物園クモザル舎)



(耐震改修済みの商業高校)

# 決

# 議

この定例会では、学校施設の早期耐震化が進められるよう、次のとおり決議案が議員により提出され、全員賛成で可決しました。

## 学校施設の耐震化促進を求める決議

わが国では、阪神淡路大震災や中越地震などで被害を被り、地域住民の避難場所の役割を果たす学校施設耐震化の促進がなされていたが、中国・四川大地震でも、学校の倒壊などによって、子どもを含む多数の人々が犠牲になり、学校施設耐震化の促進は更に緊急を要する課題となった。

群馬県平均では耐震化率58.0%（前年比2.4ポイント増）であり、桐生市では耐震化率54.9%（前年比7.0ポイント増）である。

6月6日、衆議院で、市町村が行う学校施設耐震補強工事への国庫補助引き上げを内容とする「地震防災対策特別措置法改正案」が可決されるなど、国政が学校施設耐震化促進へ動き出している。

桐生市は、こうした動きに呼応し、国の制度を積極的に活用して、学校施設の耐震化をすすめるべきである。

以上、決議する。

平成 20年 6 月17日

桐 生 市 議 会



### 市議会本会議を 傍聴してみませんか？

本会議は公開されており、議会傍聴受付で簡単な手続き（住所、氏名の記入）をすれば、どなたでも自由に傍聴できます。

傍聴席の定員は80人で、傍聴希望者が定員を超えるときは、整理券を発行して混乱を避けています。

なお、常任委員会（総務、建設、産業経済、教育民生の4委員会）についても傍聴できますが、スペースに限りがありますので、傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。

再生紙を使用しています。

### 人事 案件

市議会は、次の人事案件に、同意しました。

固定資産評価員

石田康博氏  
(新任)

### 各種委員の 選出

議会選出の各種委員について、推薦依頼に基づき、次のとおり選出しました。

農業委員会選任委員

西岡佐新  
牧部藤井  
秀純幸達  
乗朗雄夫